

# 令和7年度 群馬県地球温暖化防止活動推進員 活動報告

---

群馬県 環境森林部 環境政策課

## 基本データ

- 委嘱人数

162名（令和8年3月31日時点）

【地区別内訳】

|        |       |
|--------|-------|
| 中部地区   | : 54名 |
| 西部地区   | : 41名 |
| 吾妻地区   | : 15名 |
| 利根沼田地区 | : 14名 |
| 東部地区   | : 38名 |

- 委嘱期間

令和7年6月27日～令和9年3月31日

- 令和7年度活動報告書提出者数

94名（58%）

# 1. 日常生活における実践 (自らが取り組んだこと)

|                                    | 人数（人） | 割合（％） |
|------------------------------------|-------|-------|
| 節電・省エネ行動                           | 84    | 51.9  |
| スマートムーブ（公共交通機関・自転車・徒歩での移動、エコドライブ等） | 67    | 41.4  |
| 環境にやさしい買い物（マイバッグ利用、地産地消、てまえどり等）    | 71    | 43.8  |
| プラスチックごみ削減                         | 64    | 39.5  |
| 食品ロス削減                             | 73    | 45.1  |
| 5 Rの実践                             | 44    | 27.2  |
| その他                                | 9     | 5.6   |

※割合は推進員全体（162名）に対する割合

# 1. 日常生活における実践 (自らが取り組んだこと)

## ～その他の具体的な内容～

- ・ 生ゴミ・落葉等の堆肥化
- ・ グリーンカーテンの利用
- ・ コンポストを活用した生ごみの削減
- ・ 屋根に遮熱シートを設置
- ・ 自家用車を電気自動車に買い替え
- ・ 屋敷林の活用
- ・ 太陽光発電の導入及び使用
- ・ 雨水を利用（水の節約）
- ・ (有)中央電機商会エコアクション2.1事務局長として公私ともに活動した
- ・ 道路のゴミや缶拾い

## 2. 研修や会議等への参加 (他者の企画に賛同したもの)

|                                     | 人数（人） | 割合（％） |
|-------------------------------------|-------|-------|
| 群馬県及び群馬県地球温暖化防止活動推進センターが開催する研修や講演会等 | 69    | 42.6  |
| 国、市町村が開催する研修や講演会等                   | 36    | 22.2  |
| 民間企業が開催する研修や講演会等                    | 13    | 8.0   |
| 市民活動団体が開催する研修や講演会等                  | 21    | 13.0  |
| 推進員が各地区で開催する地区会議等                   | 37    | 22.8  |
| その他                                 | 0     | 3.7   |

※割合は推進員全体（162名）に対する割合

## 2. 研修や会議等への参加 (他者の企画に賛同したもの)

### ～その他の具体的な内容～

- 環境アドバイザーの研修会に参加
- 伊勢崎市いせさきGX推進市民協議会へ参加
- 省エネ診断員として事業書で省エネ診断を実施
- エコプロ第27回に参加
- SDGs推進協議会へ参加
- 利根川流域交流会に参加

### 3. 普及啓発活動 (自ら企画したもの)

|                                         | 人数（人） | 割合（％） |
|-----------------------------------------|-------|-------|
| 各種セミナー・研修会・出前講座等の講師を務めた                 | 16    | 9.9   |
| 各種イベント等に出展、協力した                         | 31    | 19.1  |
| 地域住民、勤務先、所属団体等において普及啓発活動を実施した           | 39    | 24.1  |
| 広報誌・会報誌の作成や投稿、ホームページ・SNSを通じて普及啓発活動を発信した | 21    | 13.0  |
| マイC02シミュレーターを利用して普及啓発活動を実施した            | 7     | 4.3   |
| その他                                     | 8     | 4.9   |

※割合は推進員全体（162名）に対する割合

### 3. 普及啓発活動 (自ら企画したもの)

#### ～その他の具体的な内容～

- ・ 前橋市一般廃棄物処理基本計画と前橋市地域公共交通基本計画へパブリックコメントを提出
- ・ クールシェアスポットについて呼びかけ。町内施設や飲食店など複数の登録に繋がった
- ・ 環境関係の雑学講座を発行して配布
- ・ 沼田市民活動センターの情報誌で環境問題に関する取組を呼びかけ
- ・ 市町村のイベントに出展
- ・ 市内小学校で講義
- ・ 地区の清掃活動への参加
- ・ 市町村職員との意見交換

## 4. 活動内容

- ・環境にやさしい買い物スタイルの店頭啓発活動への参加
- ・動く環境教室で学習サポーターとして講義を行った
- ・県内高校生に脱炭素まちづくりカレッジを通じ、普及啓発を行った
- ・コンプレッサーの節電術というセミナーの講師を務めた
- ・西部地区推進員の集いを開催
- ・安中市の経営者勉強会で「カーボンニュートラル」をテーマに講演

- ・公共交通利用促進のための会合の開催及び公共交通実践ツアーの開催
- ・町の「ごみゼロ運動の日」を通じ、ごみの減量化・資源化を啓発
- ・地域の美化推進活動に参加
- ・小学生を対象に地球温暖化の講演
- ・フードドライブの開催
- ・環境フェスティバルの開催
- ・古着回収リサイクルの推進

## 4. 活動内容

- ・ エコ農園の活動
- ・ 環境アドバイザーとして活動
- ・ マイCO<sub>2</sub>シミュレーターを使用した啓発活動
- ・ 福祉バザーの開催
- ・ 地元小学校と協力し、地元河川の清掃及び水質検査
- ・ 市町村の広報誌で啓発記事を掲載
- ・ 市町村の審議会に委員として参加

- ・ 環境にまつわる先進施設の見学と意見交換会
- ・ 道路・水路等の清掃活動
- ・ 社内環境教育研修の開催
- ・ 次世代自動車試乗会の開催
- ・ 地元市町村で自然観察会開催
- ・ こどもエコクラブの活動
- ・ 環境GS省エネ診断員のワーキンググループに参加

## 5. 感想・意見・情報提供等

- ・地球温暖化防止活動推進員としての活動として環境アドバイザー等で活動した中での意見等を記入します。
  1. 温暖化・エネルギー部会及び自然・環境部会で「温暖化に負けない効果的な緑のまちづくり」を都市部の温暖化の特徴を知り、効果的な対策適応を学んだ。景観だけではない街路樹の効果を改めて知った。街路樹の剪定方法時期など本当に適切なのか？など一般市民としては、これもまちづくりに大いに関連していく事であると感じた。ヒートアイランドと温暖化は相乗効果で加速する。人工で起こる事はすぐにでも防げるはずであると感じた。
  2. 自然・環境部会で群馬の森林の状況等を知り、再生可能である森林資源の活用を循環させる術が必要と強く感じた。一番問題となっているのは使われてない地消であり、出口を作れば循環させる事ができる。住宅などにもっと使って行く消費者意識の変化を促さなければならないと思う。
  3. ごみの減量には生ごみや落ち葉などは資源として扱う方向で活かしていかなければならない。これもまちづくりに繋がっていくと感じた。

## 5. 感想・意見・情報提供等

- ・ エネルギーの地産地消の事業者代表としての取組と併せて、地球温暖化防止活動推進活動に携わらせていただいております。  
太陽光発電事業に対する批判的な声もある中、地域との共生、地域貢献を柱に取り組むことが今後ますます重要であると考えております。  
昨年12月には、日経ビジネスでも中之条の取組が紹介されましたが、今後ともこうした事業への従事とあわせて、推進員の一人として活動を進めていきたいと思っております。
- ・ 太陽光発電所建設のために森林伐採が行われていることに対して、疑問を持っている。  
また、エコシュミレーターはドライブに行ったり飛行機に乗るとスコアが下がる。飛行機に乗ること自体が悪のような考え方は、あまり現実的ではない。飛行機の交通手段で海外に行くことは極めて一般的ではない以上、海外旅行を否定することを意味することになるのも活動の意図が正しく一般市民に伝わらないと感じる。

## 5. 感想・意見・情報提供等

- ・ 昨今の中東問題にも絡むのですが、便利な生活を支えているエネルギーの重要性を認識しているが、我が国はほとんど輸入に頼らざるを得ない状況を危惧している。今の便利な生活を江戸時代に戻すことはできない。しかしながら、あまりにも便利さに慣れてしまっているため、全国民で必要最小限の消費に改善していく意識づけが必要だと感じている。自国で生産できるエネルギーや食糧等を賄えるような仕組みが必要だと感じている。
- ・ 「地球温暖化防止」や「脱炭素」と聞くと堅苦しく聞こえたり、何に取り組んだらよいか分かりにくいように感じられることが、市民や企業において脱炭素の取り組みの優先順位が上がらない一因になっているのではないかと考えている。一方で、昨今の物価高騰により、特に光熱費や燃料費等の削減に関心が高まっていると感じる。省エネの工夫や再エネの導入により、日々の生活や事業活動において節約・経費節減というメリットが見込まれることをアピールして、次年度以降も家庭や企業における取り組みの拡大につなげていきたい。

## 5. 感想・意見・情報提供等

- 「地球温暖化防止」という言葉だと非常に高度な政策、事業を行わなくてはならないのかという当初のイメージがあったが、実践をしてみると、マイバッグを使用したり、移動に電車や自転車を利用したりと身近なことでも地球温暖化防止に繋がっていることが実感できた。  
また、村役場で住宅用太陽光発電システム設置整備事業費の補助金担当をしているが、申請や問い合わせの件数も多く、村内だけで見ても脱炭素化・省エネ化がかなり進んでおり、住民の方々の脱炭素化やエコに対する意識が高まっているように感じた。
- 「地球温暖化防止」は今世紀最大の課題です。個人的には35年以上、推進員（第1期）となっても、あらゆる場や広報・印刷物などを通じ、子どもから地域の方々へも話をしてきたところですが、近年（ここ数年）全く逆の方向へ世界が動いているようで気がかりです。

## 5. 感想・意見・情報提供等

- ・ 植物は二酸化炭素を吸って酸素を吐く。植物には二酸化炭素が必要です。CO<sub>2</sub>をゼロにするというのは植物には良くないことです。植物、緑を増やすことでCO<sub>2</sub>を吸ってくれるので緑をどんどん増やすことは自然にCO<sub>2</sub>が減っていくわけで、もっとCO<sub>2</sub>を減らすことを角度を変えて考えるべきだ。山火事が増えているのも気がかりだ。温暖化が原因ともいわれているが、具体的に対策を考えないとますます山火事が増えて大変な事態になるのでは？もっと深刻に温暖化防止を国策で考えるべきです。
- ・ 日常生活での省エネルギーや食品ロス削減などには積極的に取り組むことができるが、自家用車の使用は控えることができない。公共交通を利用しようとする、どうしても倍以上の時間がかかってしまい、時短を考えて移動には自家用車を利用してしまふ。ハイブリッドの車を使用するなどの工夫はしているが、根本的な解決が難しい問題だと考える。群馬県民の公共交通機関利用はなかなか難しいと思う。

## 5. 感想・意見・情報提供等

- ・日本一暑いまちになってしまいました「伊勢崎」に住んでいますが、いせさきGX推進市民協議会を通じて、ただ暑いだけでないということが分かった次第です。①伊勢崎赤堀でスイカ栽培をなさっている専業農家さまから伺ったのですが、暑さのため出荷直前に実が割れたり、ダニが付いてしまい途中で腐ってしまっ出て出荷出来なく、経済的に大打撃をうけているとのこと。「ハダニ」というダニで、高温乾燥を好み葉の裏に付き強い農薬を使わないと死滅しないとのこと。子供たちが大好きな果物(野菜)ですから、出来るだけ農薬散布は避けたいと嘆いていました。②一般的な量販店やホームセンターで廉価で販売しているエアコンは、室外機の周辺温度が43℃を超えるとコンプレッサーを保護するため、止まってしまいます。最近の上位機種では、50℃の設定になっていますが、一般的な使用者(消費者)は、理解していないため故障と判断してしまうようです。室外機の周辺に物を置かない、雑草を刈り取り風通しを良くする、よしずなどで日陰を作ってやる、室外機に直接水を掛けるのは厳禁。室外機周辺に打ち水をしてやると、蒸発潜熱により周辺温度が下がるなどの知識が広まっていくことを願います。

## 5. 感想・意見・情報提供等

- 気候変動対策は①異常気象②国際間の不公平③国民の意識変化④生活様式の変容等多くの課題があります。我が家は古い時代（江戸）から受け継がれてきた屋敷林があります。近年近所では数少なくなってきました。群馬の寒い北風から家や庭先を守り、群馬の地形から誕生した地域にとって大切な自然環境です。夏は日差しを遮り温度が5℃位低く涼しく、自然の恵みに感謝です。落葉や井戸水も利用しSDGs生活を楽しみ続けたいです。屋敷林を利活用している家に県や市から補助を考えていただきたいです。
- 家庭の省エネをお伝えすることで、一つ一つの行動の意識づけとなってもらえると思います。また、令和7年度は初めてうちエコ診断士としての活動もできましたので、令和8年度も積極的に参加をさせていただければと思います。
- 自身も含めて、活動がマンネリ化しているような気がします。県民が地球温暖化問題が自分事として広く共有していけるような活動を考え転換していく時期になっているのではないかと思います。

## 5. 感想・意見・情報提供等

- ・ 2025年度は自宅に蓄電池を導入するなど電力に関することを個人的に学ぶ機会も有、節電の意識も家族全体で上がった。
- ・ 地球温暖化防止活動推進員として活動して、普段学生生活をしている中では意識しなかった点を意識するようになりました。ペットボトルの飲み物を買うのではなく水筒を持参したり、エコバッグを常に持ち歩くようになったりと、参加しなければ得られなかった知識を日常の行動に移すことができ、とても有意義な経験となりました。  
また、個人の小さな行動の積み重ねが環境問題の解決につながることを実感すると同時に、まだ多くの人に十分に認知されていない現状も感じました。今後は、自分自身が継続して環境に配慮した行動を取るだけでなく、周囲の人にも関心を持ってもらえるような発信や働きかけを行っていきたいと考えています。
- ・ 各地域での取組がその地域独自性をもって活動されていることに感銘を受けました。特に高崎市の高浜クリーンセンターでの講演は印象に残りました。ここでは発電をする関係で、他の地域と違ってプラを燃やすなど分別も違うなど新たな発見がありました。

## 5. 感想・意見・情報提供等

- ・ 地球温暖化防止活動推進員として登録させていただいたものの、自ら積極的な普及活動を行うことができず、大変心苦しく感じております。しかしながら、研修会やイベントでのボランティア活動を通じて、多くの学びを得る機会をいただいております。特に、これまであまり意識できていなかった、料理から出るごみの削減や適切な分別の大切さについて、家庭内でも共有できるようになりました。  
また、資源ごみストックハウスも積極的に利用するようになりました。これからも、自分の日常生活の中でできることを意識し、継続的に取り組んでいきたいと考えております。また、各種環境イベント等においても、微力ながらお手伝いできればと存じます。
- ・ 研修会や地区会議などが平日に行われたことが多く、仕事があったために参加する機会が少なかったです。日曜日などに催していただけると参加できることが多くなると思います。

## 5. 感想・意見・情報提供等

- ・ 研修やイベントへの参加があまりできませんでしたが、その中でも少し学べることができました。他の推進員の方や、その方が主催するイベントに参加することで、横のつながりもでき、一人ではできないことも一緒に開催できると一歩踏み出せました。
- ・ 推進員の方々と交流することで、自分一人では気づけないことも多くあることがわかった。今後も様々なイベントに積極的に参加し、交流や知見を深めていきたい。
- ・ 地球温暖化防止活動推進員初年度であり、推進員としての活動を学ぶ一年であった。次年度は、町とも連携して各種イベント（文化祭・各公民館まつり等）へ積極的に参加し、日常生活実践項目の住民への周知・マイCO<sub>2</sub>シミュレーターの普及啓発活動を実施していきたい。

## 5. 感想・意見・情報提供等

- ・推進員に、研修と実践活動の方法を体得できるよう、県としてバックアップ指導がもう少しほしい。
- ・県が主として行う啓発活動や研修をもう少し多くしたらよいのでは。
- ・推進員の研修やイベントには、都合がつく時は積極的に参加しましたが、仕事や多用でなかなか残念ながら行けないことも多かったです。今後は、自発的に出前講座もやっていきたい。
- ・中小企業向けの研修会などをもっと企画して、気候変動対策やネイチャーポジティブへの取り組みを始めるキッカケ作りを増やしたい
- ・出会った方とふれあうなかで、環境に対する意識がすこしずつ高くなっていて浸透してきているなと感じました。ただ、行動に移しているかどうかは別で、知っているけどやっていない状態の方が多いと思います。今後は「実行してもらう」ことに重点を置き省エネの啓発活動を行っていきたいです。

抜粋して掲載しております。  
たくさんのご意見・ご感想をありがとうございました。